



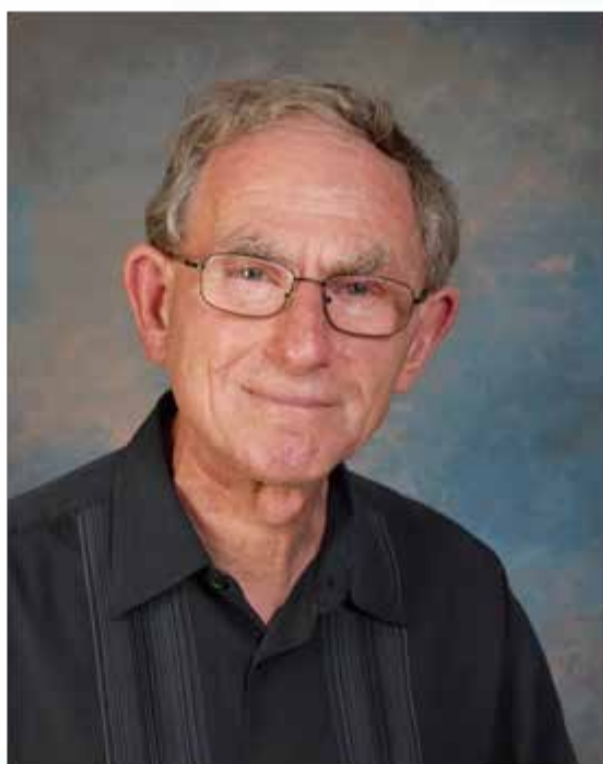
Meiji University
Center for Mathematical Modeling and Applications

CMMMA Colloquium

第3回 現象数理学コロキウム

03

生体構造の 幾何学的アプローチ



講演者：ニュージャージー工科大学
教授 **Jay Kappraff**

2014年2月24日(月)

16:30~17:30

会場：明治大学中野キャンパス
高層棟6階 セミナー室3

※ 参加費無料、事前申し込み不要です。どなたでもご参加いただけます。
※ 講演は英語で行います。

明治大学先端数理科学インスティテュート
現象数理学研究拠点



Abstract:

人体の筋肉と骨を包む筋膜（ラテン名：ファスキア）を構成している結合組織は、引っ張り張力と圧縮力によってバランスのとれた3階層の立体構造によってモデル化できる。3階層は、細胞外マトリックス、細胞骨格、細胞核から成る。講演では、3つの階層の発見の重要性について議論し、一般的な生体構造と筋膜（ファスキア）特有の構造の基となる幾何学的形状について述べる。

講演者の紹介：

1974年：

ニューヨーク大学クーラント数理科学研究所にて博士号（応用数学）取得。

1974年～現在：

ニュージャージー工科大学数理科学科教授。

専門：工学，自然科学，数学，応用数学

著書：著書「Connections」は、全米科学最優秀図書に選ばれ邦訳もある（「デザインサイエンス百科事典—かたちの秘密をさぐる」，監訳：萩原一郎，宮崎興二，野島武敏，朝倉書店2011.4）。

「Connections」は数学と芸術，建築，自然科学分野の橋渡しの意味であり，Kappraff先生は数学と諸科学の協働の分野で多くの著作があり日本の研究者とも交流が深い。

■連絡先

東京都中野区中野4-21-1 明治大学中野キャンパス8階
明治大学先端数理科学インスティテュート

Tel. 03-5343-8067 E-mail : mims@mics.meiji.ac.jp